



2017年8月22日

たいりくおうだん

アメリカ大陸横断

かいきにっしょく

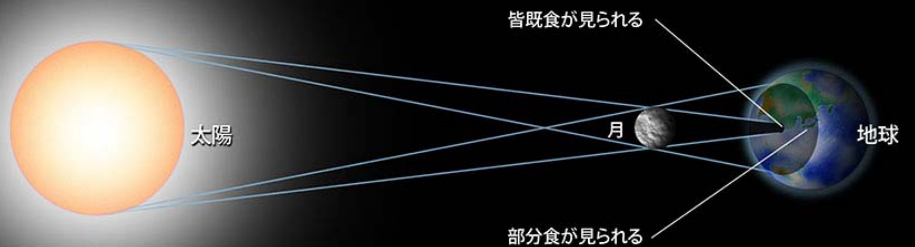
皆既日食!

かいきにっしょく

『皆既日食』とは?

日食とは、月が太陽の手前を横切るため、月によって太陽が隠される現象です。月が太陽のすべてを隠す現象を「皆既日食」、月が太陽の一部を隠す現象を「部分日食」と言います。

※太陽、月、地球の大きさとそれぞれの距離の縮尺は、実際とは異なります。



国立天文台 天文情報センター



2017年8月21日

(日本時間8月22日)、太平洋上で始まった皆既日食は時間とともに東へ進み、アメリカ大陸を横断して大西洋上で終わります。アメリカ合衆国の西海岸から東海岸に至る幅100km、長さ4000kmの帯状の範囲＝「皆既食帯」ほぼ全域が観測可能な地域となります。残念ながら、日本では日食を見ることはできません。地球全体で考えると、



前回皆既日食が起こったのは、2016年3月9日で、インドネシアや太平洋の一部などでした。そして、次回皆既日食が起こるのは2019年7月3日で、南太平洋や南米大陸の一部で見ることができます。

今回は、人が行きやすい場所ということもあり、世界中から日食ファンがこの地域に集まることでしょう。日本でもいくつもの日食ツアーが発表されています。夏休み中ということもあり、日食観測ツアーに参加される方も多いのではないのでしょうか。日本で皆既日食を見ることができるのは、2035年9月2日で、関東北部から能登半島にかけての地域で皆既食を、日本全国で部分日食を見ることができます。

※上図の  は、皆既食帯を表していて、 は、皆既食帯の中心を表しています。皆既食帯の中では、太陽が完全に月に隠される「皆既日食」を見ることができます。